

特産物が勢揃い

産業フェスタみよし2003

産業フェスタみよしは11月2日、皆さんの郷で開催されました。町内の産業の特色や活動について理解を深めてもらおうと、農業まつり、商工まつり、子ども会まつりの3つの部会が一緒に行われたこの催し。およそ3万6,000人が来場し、農作物などの即売会やゲームなど、さまざまなイベントを楽しみました。毎年訪れるという女性は「今年も新鮮な野菜を買いにきたのよ。おいしいし、安いで助かるわ」と商品に目移りしていました。



たくさんとれたよ

芋掘り体験

農業後継者の若者9人で組織される三好町農業振興クラブの皆さんは、保育園児に農作物を育てる喜びを知ってもらおうと、毎年芋の収穫体験事業を行っています。10月23日には、町内5つの保育園の年長児210人が参加して、明知地内の畑で芋掘りが行われました。6月に園児らが植えた苗は、実りの秋を迎え大きく成長。袋がいっぱいになるほど芋を掘った女の子は「袋が破れちゃうよ。いっぱいとれたでしょ」と喜びの笑顔が浮かべていました。



世代を超えて一緒に楽しむ

ふれあい交流会

明知上と明知下の老人クラブでは、地域の子どものふれあいを大切にしようとさまざまな催しを行っています。10月31日には、明知保育園の園児88人が、明知上老人憩いの家を訪問し、交流会を開きました。初めに、老人クラブの皆さんが歓迎のあいさつで園児たちを迎え、その後、輪投げ遊びなどを通じて交流。園児にゲートボールを指導していたお年寄りは「教えるのは大変だけど楽しんでもらえてよかったよ」とうれしそうに目を細めていました。



自分たちで作ったお祭り

三好丘旭子ども会の秋まつり

三好丘旭子ども会による秋まつりが10月25日、三好丘旭地内で行われました。これは、子どもたちにお祭りの楽しさを知ってもらおうと子ども会のお母さんたちが企画したもの。参加した85人の子どもたちは、地元の大工さんや老人クラブの皆さんと協力して作った3台のおみこしを「ワッショイ」と元気よく担ぎ回りました。おみこし作りに中心となって取り組んだ羽實健人君は「みんなで作ったおみこしを担ぐことができて楽しいです」と満足そうでした。



文化芸術の秋を堪能

三好町文化祭

皆さんに文化芸術への関心を高めてもらおうと毎年開催されている三好町文化祭。今年は、10月31日から11月3日までサンアートで行われました。「心に和みを感じて文化の輪を」をテーマに、展示発表には、16部会から653点が発表。また芸術発表には、15部会から180人が日ごろの活動の成果を発表しました。展示発表の生け花を鑑賞していた女性は「素晴らしい作品ばかりで感動しますね。わたしも何かはじめてみようかしら」と作品に見とれていました。



公園の楽しさを発見

公園まつり

町内の公園を知っていただき、公園に親しんでもらおうと10月26日、保田ヶ池公園で公園まつりが開催されました。今年で7回目となるこの催しに、親子連れなどおよそ500人が参加。野鳥や植物の観察会、紙芝居、キーホルダー作りなどが行われ、それぞれの楽しさを楽しんでいました。子どもと一緒に紙芝居を見ていた母親は「とても暖かく良いお天気の中、公園で過ごすのはとても気持ちいいですね」と充実した休日のひとときを過ごしていました。

